

[平成21年度設置]

大学番号：私 574

計画の区分：学部の学科の設置

届出

熊本学園大学社会福祉学部第一部ライフ・ウェルネス学科  
【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 熊本学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人課、教務課

職名・氏名 法人課長 エトウ シンヤ 江藤 信也

教務課長 マツグマ ヒデアキ 松隈 英明

電話番号 096-364-5161

（夜間） 096-364-5161

F A X 096-363-1289

e - m a i l houjin@kumagaku.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 (通信教育課程)」  
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 熊本学園

## (2) 大学名

熊本学園大学

## (3) 大学の位置

〒862-8680

熊本県熊本市大江二丁目5番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(キタコガ カツユキ) 北古賀 勝幸 (平成4年12月)	(イワノ シゲミチ) 岩野 茂道 (平成22年8月)	役員改選に伴う変更 平成22年8月2日(23)
学長	(サカモト タダシ) 坂本 正 (平成14年8月)	(オカモト トクヤ) 岡本 恵也 (平成22年8月)	任期満了に伴う変更 平成22年8月1日(23)
学部長	(ナカノ ハジメ) 中野 元 (平成18年1月)	(コイズミ ナオキ) 小泉 尚樹 (平成22年1月)	任期満了に伴う変更 平成22年1月1日(22)
学科長	(コイズミ ナオキ) 小泉 尚樹 (平成21年4月)	(ミヤバヤシ タツヤ) 宮林 達也 (平成22年1月)	任期満了に伴う変更 平成22年1月1日(22)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例)平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

## (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
- ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

### (5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科  学士(社会福祉学)	4 年	80 人	— 年次 人	320 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期		
A 入学定員	80人 (-) [ ]	一人 (-) [ ]	80人 (-) [ ]	一人 (-) [ ]	80人 ( ) [ ]	一人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.22倍	
志願者数	93 (-) [ ]	- (-) [ ]	229 (-) [ ]	- (-) [ ]	167 (-) [ ]	- (-) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	87 (-) [ ]	- (-) [ ]	229 (-) [ ]	- (-) [ ]	167 (-) [ ]	- (-) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	86 (-) [ ]	- (-) [ ]	144 (-) [ ]	- (-) [ ]	114 (-) [ ]	- (-) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	79 (-) [ ]	- (-) [ ]	122 (-) [ ]	- (-) [ ]	95 (-) [ ]	- (-) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.98	(-)	(-) 1.52	(-)	(-) 1.18	(-)	( )	( )		

- (注)・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		備 考
	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	春 季 入 学	そ の 他 の 学 期	
1 年 次	[ - ] 7 9	[ - ] -	[ - ] <del>1 2 2</del> 7 8	[ - ] -	[ - ] 9 5	[ - ] -	[ ]	[ ]	平成 22 年度春季 入学 誤謬修正 (23)
2 年 次	/		[ - ] <del>7 8</del> 1 2 2	[ - ] -	[ - ] 1 2 0	[ - ] -	[ ]	[ ]	
3 年 次			/		[ - ] 7 4	[ - ] -	[ ]	[ ]	
4 年 次					/		[ ]	[ ]	
計			[ - ] 7 9	[ - ] 2 0 0			[ - ] 2 8 9	[ ]	

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成 21 年度 (平成 21 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 3 月 31 日)	計 [ 0 ] 1	(累積) 計 [ 0 ] 79	[ 0 %] 1.3 %
	うち平成 21 年度入学者 1 人	うち平成 21 年度 79 人	
(主な退学理由) 学力不足 1 人			
平成 22 年度 (平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 3 月 31 日)	計 [ 0 ] 5	(累積) 計 [ 0 ] 200	[ 0 %] 2.5 %
	うち平成 21 年度入学者 1 人	うち平成 21 年度 78 人	
	うち平成 22 年度入学者 4 人	うち平成 22 年度 122 人	
(主な退学理由) 家庭の事情 1 人、他の教育機関への入学・転学 3 人、就職 1 人			
平成 23 年度 (平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日)	計 [ 0 ] 1	(累積) 計 [ 0 ] 290	[ 0 %] 0.3 %
	うち平成 21 年度入学者 1 人	うち平成 21 年度 77 人	
	うち平成 22 年度入学者 0 人	うち平成 22 年度 118 人	
	うち平成 23 年度入学者 0 人	うち平成 23 年度 95 人	
(主な退学理由) その他 (本学他学科への転学) 1 人			
平成 24 年度 (平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 3 月 31 日)	計 [ ]	(累積) 計 [ ]	[ %] %
	うち平成 21 年度入学者 人	うち平成 21 年度 人	
	うち平成 22 年度入学者 人	うち平成 22 年度 人	
	うち平成 23 年度入学者 人	うち平成 23 年度 人	
	うち平成 24 年度入学者 人	うち平成 24 年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間（例えば、平成 22 年度であれば、平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月末まで）の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度の前年度までの確定した入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・ 就学意欲の低下
  - ・ 学力不足
  - ・ 他の教育機関への入学・転学
  - ・ 海外留学
  - ・ 就職
  - ・ 学生個人の心身に関する事情
  - ・ 家庭の事情
  - ・ 除籍
  - ・ その他

## 2 授業科目の概要

< 社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科 >

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A (第二)群 ライフ・ウェルネス 専門科目	基礎演習	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1			6	+	+	2		1	教育効果充実のため開講時期を変更(23) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ライフ・ウェルネス入門	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2			6	+	+	2		1	教育効果充実のため開講時期を変更(23) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	社会福祉原論Ⅰ	1・2・3・4前	2									
	社会福祉原論Ⅱ	1・2・3・4後	2									
	ライフ・ウェルネス特講	2・3・4後	2			6	+	+	2		1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	スポーツ・ウェルネス論	2・3・4前	2							1		
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2・3・4前	2									
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2・3・4後	2									
	ライフ・ウェルネス演習Ⅰ	3・4後	2			7	+	+	2		1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ウェルネス・プロモーション論Ⅰ	3・4前	2			1						
	ウェルネス・プロモーション論Ⅱ	3・4後	2			1						
	卒業論文	4通		4		7	+	+	2		1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ライフ・ウェルネス演習Ⅱ	4前		2		7	+	+	2		1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	ライフ・ウェルネス演習Ⅲ	4後		2		7	+	+	2		1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)
	アダプティッド・スポーツ論	1・2・3・4前		2		1	1		1			



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
A (第二)群 ライフ・ウェルネス 専門科目	倫理とライフ・ウェルネス	1・2・3・4前		2		1						<p>平成 23 年 4 月 新規採用 藤塚千秋 (講師) (23) 平成 23 年 3 月 辞任 加藤健一 (准教授) (23) 平成 22 年 4 月 新規採用 石橋剛士 (助教) (22)</p> <p>担当者の都合により開講時期を 変更 (23) 担当者の都合により開講時期を 変更 (22)</p> <p>担当者の都合により開講時期を 変更 (23)</p> <p>担当者の都合により開講時期を 変更 (22)</p>	
	アスリートとウェルネス	1・2・3・4後		2		2	+	+	2	+	1		
	心理学 I	1・2・3・4前		2									
	心理学 II	1・2・3・4後		2									
	運動学 (運動方法学を含む)	1・2・3・4前		2		1							
	生理学 (運動生理学を含む)	1・2・3・4後		2		1							
	衛生学 (公衆衛生学を含む)	1・2・3・4前		2									
			1・2・3・4前 <del>1・2・3・4休</del> 1・2・3・4前		2								
	医学一般 I	1・2・3・4後		2									
	医学一般 II	1・2・3・4後		2									
	解剖学	1・2・3・4前		2		1							
	ソーシャルワーク方法論 I	2・3・4前		2									
	ソーシャルワーク方法論 II	2・3・4後		2									
	社会調査 I	2・3・4前		2									
	社会調査 II	2・3・4後		2									
	ヘルスアンドウェルネス	2・3・4前		2									
	生活環境論	2・3・4前		2									
	日本経済とライフ・ウェルネス	2・3・4後		2		1							
	児童福祉論 I	2・3・4前		2									
	児童福祉論 II	2・3・4後		2									
	地域福祉論 I	2・3・4前		2									
	地域福祉論 II	2・3・4後		2									
	高齢者福祉論 I	2・3・4後		2									
	障害児・者福祉論 I	2・3・4後		2									
	公的扶助論	2・3・4前 <del>2・3・4後</del>		2									
	健康体力づくり論	2・3・4前		2		1							
	スポーツ心理学	2・3・4休 <del>2・3・4前</del>		2		1							
運動処方	2・3・4後		2		1								
測定評価	2・3・4後		2										





科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A (第二)群 ライフ・ウェルネス関連科目 ウェルネス・ブライクティス系科目群	外書講読Ⅲ	3・4前		2		1						
	外書講読Ⅳ	3・4後		2		1						
	日本事情特講	3・4後		2								
	スポーツ指導法実習(水泳)	1・2・3・4前 1・2・3・4集		1		1	+	+	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22) 教育効果充実のため開講時期を変更(22) 履修者増加が予想されるため、担当教員を追加(21) 担当:宮林達也(教授) 加藤健一(准教授)	
	武道指導法実習(柔道)Ⅰ	1・2・3・4前		1		1			1		平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)	
	武道指導法実習(柔道)Ⅱ	1・2・3・4後		1		1			1		平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22)	
	スポーツ指導法実習(ダンス)Ⅰ	1・2・3・4前		1								
	スポーツ指導法実習(ダンス)Ⅱ	1・2・3・4後		1								
	スポーツ指導法実習(器械運動)	1・2・3・4前		1								
	スポーツ指導法実習(陸上競技)Ⅰ	1・2・3・4前		1								
	スポーツ指導法実習(陸上競技)Ⅱ	1・2・3・4後		1								
	アダプティッド・スポーツ実技	1・2・3・4後		1		1	+	+	1		教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当:石橋剛士(助教) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23)	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2・3・4前		1								
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2・3・4前		1				1				
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2・3・4後		1				1				
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2・3・4後		1				1				
	スポーツ指導法実習(バレーボール)	2・3・4後 2・3・4前		1							担当者の都合により開講時期を変更(22) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 担当者の都合により開講時期を変更(22)	
	スポーツ指導法実習(バスケットボール)	2・3・4前 2・3・4後		1				+				
	スポーツ指導法実習(ソフトボール)	2・3・4後		1		1						
	スポーツ指導法実習(スキー)	2・3・4集		1		2	+	+	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士(助教)(22) 教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当:石橋剛士(助教)	
レクリエーション指導法実習A	2・3・4前		1				+	+	1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23) 教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当:石橋剛士(助教)		
レクリエーション指導法実習B	2・3・4後		1		2	+	+	1		平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23)		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A (第二群 ライフ・ウェルネス関連科目)	ウェルネス・プラクティス系科目群	キッズスポーツ指導法実習	2・3・4前		1							
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3・4前		1			1				教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当: 今吉光弘(准教授)
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	3・4後		1			1				教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当: 今吉光弘(准教授)
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3・4前		1							
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3・4後		1							
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	3・4集		2			1				
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3・4集		2			1				
		野外活動指導法実習(キャンプ)	3・4集		1		2	<del>1</del>	<del>1</del>	<del>1</del>	1	教育効果充実のため担当教員を追加(23) 担当: 石橋剛士(助教) 平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一(准教授)(23)
		高齢者スポーツ指導法実習	3・4後		1							平成23年4月 新規採用 藤塚千秋(講師)(23)
		健康体力づくり実習	3・4前		1		1					
ウェルネス・インターンシップ	3・4集		1		2							
B・C 群等科目	B・C 群科目	部落解放論Ⅰ	1・2・3・4前		2							
		部落解放論Ⅱ	1・2・3・4後		2							
		文章論(作文、レポート、論文、新聞)	1・2・3・4通		4							
		地理学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2							
		地理学概論Ⅱ	1・2・3・4後		2							
		自然科学と人間ⅠA(物理学)	1・2・3・4前		2							
		自然科学と人間ⅠB(物理学)	1・2・3・4後		2							
		自然科学と人間ⅡA(化学)	1・2・3・4前		2							
		自然科学と人間ⅡB(化学)	1・2・3・4後		2							
		哲学概論Ⅰ	2・3・4前		2		1					
		哲学概論Ⅱ	2・3・4後		2		1					
		芸術と表現Ⅰ	2・3・4前		2							
		芸術と表現Ⅱ	2・3・4後		2							
		社会心理学Ⅰ	2・3・4前		2							
		社会心理学Ⅱ	2・3・4後		2							
		言語と文化Ⅰ	2・3・4前		2							
		言語と文化Ⅱ	2・3・4後		2							
日本史概論Ⅰ	2・3・4前		2									
日本史概論Ⅱ	2・3・4後		2									

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
B・C 群等 科目	B・C 群科 科目	西洋史概論Ⅰ			2							
		西洋史概論Ⅱ	2・3・4後			2						
		環境論ⅠA（自然環境）	2・3・4前			2	1					
		環境論ⅠB（自然環境）	2・3・4後			2	1					
		自然科学と人間ⅢA（生物学）	2・3・4前			2	1					
		自然科学と人間ⅢB（生物学）	2・3・4後			2	1					
		倫理学概論Ⅰ	3・4前			2						
		倫理学概論Ⅱ	3・4後			2						
		現代教育論Ⅰ	3・4前			2						
		現代教育論Ⅱ	3・4後			2						
		文化人類学Ⅰ	3・4前			2						
		文化人類学Ⅱ	3・4後			2						
		政治学Ⅰ	3・4前			2	1					
		政治学Ⅱ	3・4後			2	1					
		情報メディア論Ⅰ	3・4前			2						
		情報メディア論Ⅱ	3・4後			2						
		地域社会学Ⅰ	3・4前			2						
		地域社会学Ⅱ	3・4後			2						
		環境論ⅡA（環境と人間社会）	3・4前			2						
		環境論ⅡB（環境と人間社会）	3・4後			2						
外国 語科 目		英語ⅠA	1・2・3・4前		1							
		英語ⅠB	1・2・3・4後		1							
		英語ⅡA	1・2・3・4前		1							
		英語ⅡB	1・2・3・4後		1							
		ドイツ語ⅠA	1・2・3・4前		1							
		ドイツ語ⅠB	1・2・3・4後		1							
		ドイツ語ⅡA	1・2・3・4前		1							
		ドイツ語ⅡB	1・2・3・4後		1							
		フランス語ⅠA	1・2・3・4前		1							
		フランス語ⅠB	1・2・3・4後		1							
		フランス語ⅡA	1・2・3・4前		1							



科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数			専 任 教 員 等 の 配 置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
B・C 群等科目 外国語科目	中国語ⅣA	2・3・4前		1							
	中国語ⅣB	2・3・4後		1							
	ロシア語ⅢA	2・3・4前		1							
	ロシア語ⅢB	2・3・4後		1							
	ロシア語ⅣA	2・3・4前		1							
	ロシア語ⅣB	2・3・4後		1							
	スペイン語ⅢA	2・3・4前		1							
	スペイン語ⅢB	2・3・4後		1							
	スペイン語ⅣA	2・3・4前		1							
	スペイン語ⅣB	2・3・4後		1							
	韓国語ⅢA	2・3・4前		1							
	韓国語ⅢB	2・3・4後		1							
	韓国語ⅣA	2・3・4前		1							
	韓国語ⅣB	2・3・4後		1							
保健体育	健康科学A（講義）	1・2・3・4前後 1・2・3・4前		2		2	+	2	-	1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋（講師）(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一（准教授）(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士（助教）(22) 他学部とのカリキュラム統一のため、開講時期を追加（21）
	健康科学BⅠ（実技）	1・2・3・4前		1		2	+	2	-	1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋（講師）(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一（准教授）(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士（助教）(22)
	健康科学BⅡ（実技）	1・2・3・4後		1		2	+	2	-	1	平成23年4月 新規採用 藤塚千秋（講師）(23) 平成23年3月 辞任 加藤健一（准教授）(23) 平成22年4月 新規採用 石橋剛士（助教）(22)
留学生対象科目	日本語ⅠA	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前		1							他学部とのカリキュラム統一のため、開講時期を変更（22）
	日本語ⅠB	1・2・3・4後 1・2・3・4前		1							他学部とのカリキュラム統一のため、開講時期を変更（21）
	日本語ⅡA	1・2・3・4前		1							
	日本語ⅡB	1・2・3・4後		1							
	日本語ⅢA	2・3・4前		1							
	日本語ⅢB	2・3・4後		1							
	日本語ⅣA	2・3・4前		1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
留学生対象科目	日本語ⅣB	2・3・4後		1								
	日本事情ⅠA	1・2・3・4前		2								
	日本事情ⅠB	1・2・3・4後		2		1						
	日本事情ⅡA	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2								他学部とのカリキュラム統一のため、開講時期を変更(22)
	日本事情ⅡB	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2		1						他学部とのカリキュラム統一のため、開講時期を変更(22)
	日本事情ⅢA	1・2・3・4前		2								
	日本事情ⅢB	1・2・3・4後		2								

- (注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません。)

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 239	科目 0	科目 250	科目 11 [0]	科目 239 [0]	科目 0 [0]	科目 250 [0]	

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{250} = 0$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  付属中学校設置に伴い大学運動場を付属中学校校舎及び運動場敷地に用途変更したため(23)  合筆登記による誤差のため(平成22年3月19日登記) (22)		
	校舎敷地	51,741.67㎡ <del>49,395.14㎡</del>	0㎡	0㎡	51,741.67㎡ <del>49,395.14㎡</del>			
	運動場用地	132,850.98㎡ <del>141,251.50㎡</del> <del>147,789.13㎡</del>	0㎡	0㎡	132,850.98㎡ <del>141,251.50㎡</del> <del>147,789.13㎡</del>			
	小 計	184,592.65㎡ <del>192,993.17㎡</del> <del>197,184.27㎡</del>	0㎡	0㎡	184,592.65㎡ <del>192,993.17㎡</del> <del>197,184.27㎡</del>			
	そ の 他	11,963.00㎡ <del>9,106.14㎡</del>	0㎡	0㎡	11,963.00㎡ <del>9,106.14㎡</del>			
	合 計	196,555.65㎡ <del>204,956.17㎡</del> <del>206,290.41㎡</del>	0㎡	0㎡	196,555.65㎡ <del>204,956.17㎡</del> <del>206,290.41㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	65,391.79㎡ (65,391.79㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	65,391.79㎡ (65,391.79㎡)			
	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設	大学全体 講義室 教育効果を高めるため既存の教室の一部を改修し増設したため(22) 演習室 教育効果を高めるため既存の教室の一部を改修し増設したため(22) 情報処理学習施設 情報処理関連科目の履修者数に応じて配置するため(22)		
(3) 教室等	74 <del>68</del> 室	105 <del>97</del> 室	7 室	15 室  58 (補助職員57人)	6 室  (補助職員2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数	平成23年4月 専任講師1名を新規採用のため(23) 平成23年3月 専任准教授1名辞任のため(23) 平成22年4月 専任助教1名を新規採用のため(22)		
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科				11 <del>10</del> <del>11</del> <del>10</del> 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学 術 雑 誌 〔うち外国書〕 種	電 子 ジャーナル 〔うち外国書〕	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・視聴覚資料 充実のため(23)  図書・視聴覚資料 充実のため(22)
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科	105,363 [19,996] 108,807 [20,353] <del>106,952 [20,139]</del> <del>(105,363 [19,996])</del>	125 [40]  (125 [40])	0 [0]  ( 0 [ 0])	385 525 477 <del>(385)</del>	0  (0)	0  (0)	
	計	105,363 [19,996] 108,807 [20,353] 106,952 [20,139] <del>(105,363 [19,996])</del>	125 [40]  (125 [40])	0 [0]  ( 0 [ 0])	385 525 477 <del>(385)</del>	0  (0)	0  (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,631.11㎡	897		1,000,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	6,370.7㎡	テニスコート10面、野球場2面、弓道場、アーチェリー場など						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,057千円	1,057千円	図書購入費	—千円	2,000千円	2,000千円
	積 立	共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	—千円	—千円	—千円
	学生1人当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,014千円	794千円	794千円	794千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注)・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	熊本学園大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		熊本県熊本市 大江二丁目 5番1号	
商学部第一部 商学科	4	220	—	880	学士(商学)	1.18 1.22	昭和29年度		
経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.18	昭和59年度		
ホスピタリティ・マネジメント学科	4	80	—	320	学士(経営学)	1.12	平成17年度		
商学部第二部 商学科	4	—	—	—	学士(商学)	— —	昭和29年度		平成19年度より 学生募集停止
経済学部 経済学科	4	200	—	800	学士(経済学)	1.22 1.25	昭和42年度		
国際経済学科	4	100	—	420	学士(国際経済学)	1.17	平成2年度		平成21年度定員減 120→100(Δ20)
リーガルエコノミクス学科	4	80	—	320	学士(経済学)	1.22	平成18年度		
外国語学部 英米学科	4	115	—	460	学士(文学)	1.13 1.15	平成6年度		
東アジア学科	4	50	—	210	学士(文学)	1.10	平成6年度		平成21年度定員減 60→50(Δ10)
社会福祉学部第一部 社会福祉学科	4	80	—	340	学士(社会福祉学)	1.14 1.14	平成6年度		平成21年度定員減 100→80(Δ20)
福祉環境学科	4	80	—	340	学士(福祉環境学)	1.08	平成12年度		平成21年度定員減 100→80(Δ20)
子ども家庭福祉学科	4	80	—	320	学士(社会福祉学)	1.14	平成18年度		
ライフ・ウェルネス学科	4	80	—	240	学士(社会福祉学)	1.22	平成21年度		
社会福祉学部第二部 社会福祉学科	4	80	—	340	学士(社会福祉学)	0.54 0.54	平成6年度		平成21年度定員減 100→80(Δ20)

- (注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科>

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小泉尚樹	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 倫理とライフ・ウェルネス 外書講読Ⅲ 哲学概論Ⅰ 哲学概論Ⅱ 日本事情ⅠB						
専	教授	宮林達也	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス 生理学（運動生理学を含む） 健康体づくり論 運動処方 アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習（ソフトボール） スポーツ指導法実習（スキー） レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習（キャンプ） 健康体づくり実習 ウェルネス・インターシッパ 健康科学A（講義） 健康科学BⅠ（実技） 健康科学BⅡ（実技）					スポーツ指導法実習（水泳）	履修者増加が予想されるため、担当科目を追加 (21)
専	教授	北井和利	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アスリートとウェルネス 運動学（運動方法学を含む） スポーツ指導法実習（水泳） 武道指導法実習（柔道）Ⅰ 武道指導法実習（柔道）Ⅱ スポーツ指導法実習（スキー） レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習（キャンプ） ウェルネス・インターシッパ 健康科学A（講義） 健康科学BⅠ（実技） 健康科学BⅡ（実技）						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	豊田直二	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 解剖学 外書講読Ⅱ 環境論ⅠA(自然環境) 環境論ⅠB(自然環境) 自然科学と人間ⅢA(生物学) 自然科学と人間ⅢB(生物学)						
専	教授	中野元	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 日本経済とライフ・ウェルネス 経済学Ⅰ 経済原論Ⅰ 経済原論Ⅱ 外書講読Ⅰ						
専	教授	田中節男	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 外書講読Ⅳ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 日本事情ⅡB						
専	教授	橋本公雄	平成24年4月	ライフ・ウェルネス演習Ⅰ ウェルネス・プロモーション論Ⅰ ウェルネス・プロモーション論Ⅱ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ スポーツ心理学						
兼任	講師	橋本公雄	平成22年4月	スポーツ心理学					ウェルネス・プロモーション論Ⅰ ウェルネス・プロモーション論Ⅱ	3年次開講科目 につき追加(23)



届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	加藤健一	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アスリートとウェルネス アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習 (バスケットボール) スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)	兼任	講師			スポーツ指導法実習(水泳)	平成23年3月 本学社会福祉学部 辞任 引き続き兼任講師 として授業を担当 するので支障はない(23)  履修者増加が予想 されるため、担当科 目を追加(21)
専	准教授	今吉光弘	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ					ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ	教育課程の充実 を図るため、担当 科目を追加(23)
専	講師	井上弘人	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ スポーツ・ウェルネス論 ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス レクリエーション概論 スポーツ指導法実習(水泳) アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 高齢者スポーツ指導法実習 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
					専	講師	藤塚千秋	平成23年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アスリートとウェルネス アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 高齢者スポーツ指導法実習 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)	平成23年4月 新規採用(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
									7月下旬・スポーツ実技 リレーション指導法実習A リレーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ)	平成23年3月 加藤健一専任准教授 辞任のため担当 科目を追加(23)
					専	助教	石橋剛士	平成22年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習I 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習II ライフ・ウェルネス演習III アスリートとウェルネス スポーツ指導法実習(水泳) 武道指導法実習(柔道)I 武道指導法実習(柔道)II スポーツ指導法実習(スキー) 健康科学A(講義) 健康科学B I(実技) 健康科学B II(実技)	平成22年4月 新規採用(22)
兼担	教授	宮北隆志	平成21年4月	ライフ・ウェルネス入門※ 生活環境論 地域づくりとバリアフリー 環境論II A(環境と人間社会) 環境論II B(環境と人間社会)						
兼担	教授	豊田謙二	平成21年4月	社会福祉原論I 社会福祉原論II						
兼担	教授	下地明友	平成22年4月	ライフ・ウェルネス特講※ 精神保健学I 精神保健学II						
兼担	教授	井上勝子	平成21年4月	アダブディッド・スポーツ論 スポーツ指導法実習(ダンス)I スポーツ指導法実習(ダンス)II スポーツ指導法実習 (バレーボール) リレーション指導法実習A キッズスポーツ指導法実習 健康科学B I(実技) 健康科学B II(実技)	兼任	講師				平成23年3月 本学社会福祉学 部辞任 引き続き兼任講 師として授業を 担当するので支 障はない(23)
兼担	教授	山崎史郎	平成21年4月	心理学I 心理学II 発達心理学						
兼担	教授	守弘仁志	平成21年4月	社会調査I 社会学概論I 社会学概論II 情報メディア論I 情報メディア論II						
兼担	教授	小川全夫	平成22年4月	高齢者福祉論I 高齢者福祉論II						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	東 俊裕	平成 22 年 4 月	障害児・者福祉論Ⅰ 障害児・者福祉論Ⅱ 障害者と法	兼任	講師	金 蘭九	平成 22 年 4 月	日本社会福祉史Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 (22)
									障害児・者福祉論Ⅰ 障害児・者福祉論Ⅱ	平成 22 年 3 月 東俊裕兼任教授就任 辞退のため平成 22 年 度より担当者の変更 (22)
									障害者と法	
									障害児・者福祉論Ⅰ	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加 (23)
兼任	教授	堀 正嗣	平成 23 年 4 月	ソーシャルワーク方法論Ⅳ						
兼任	教授	河野正輝	平成 23 年 4 月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ						
兼任	教授	花田昌宜	平成 22 年 4 月	就労支援論 水俣学 ハンセン病講義 社会政策Ⅰ 社会政策Ⅱ 現代の福祉国家						
兼任	教授	大江正昭	平成 21 年 4 月	日本国憲法 憲法Ⅰ (統治論) 憲法Ⅱ (人権論) 市民と政治						
兼任	教授	山本尚友	平成 21 年 4 月	日本社会福祉史Ⅰ 日本社会福祉史Ⅱ 部落解放論Ⅰ 部落解放論Ⅱ					ハンセン病講義	教育課程の充実 を図るため、担当 科目を追加 (22)
兼任	教授	大野哲夫	平成 22 年 4 月	ハンセン病講義 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ						
兼任	教授	佐藤勇治	平成 23 年 4 月	日本事情特講						
兼任	教授	中野裕治	平成 23 年 4 月	日本事情特講						
					兼任	教授	奥山文幸	平成 23 年 4 月	日本事情特講	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加 (23)
					兼任	教授	米岡ジュリ	平成 23 年 4 月	日本事情特講	教育課程の充実 を図るため、担当 者を追加 (23)
兼任	教授	赤井恵子	平成 21 年 4 月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	尾崎 勇	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						
兼担	教授	山中 進	平成21年4月	地理学概論Ⅰ 地理学概論Ⅱ 日本事情ⅠA						
兼担	教授	坂口 潮	平成21年4月	自然科学と人間ⅡA(化学) 自然科学と人間ⅡB(化学) 日本事情ⅢA						
兼担	教授	田中 均	平成22年4月	芸術と表現Ⅰ 芸術と表現Ⅱ						
兼担	教授	篠塚敏生	平成22年4月	西洋史概論Ⅰ 西洋史概論Ⅱ	兼担	准教授	岡部造史	平成23年4月		平成23年3月 篠塚敏生兼任講師 辞任のため平成23 年度より担当者の 変更(23)
					兼任	講師				平成23年3月 篠塚敏生兼任講師 辞任(23) 平成22年3月 本学社会福祉学部 辞任 兼任講師となり引 き続き授業を担当 するため支障はな い(23)
兼担	教授	伊藤良高	平成23年4月	現代教育論Ⅰ 現代教育論Ⅱ						
兼担	教授	原田正純	平成23年4月	環境論ⅡA(環境と人間社会) 環境論ⅡB(環境と人間社会)						平成22年3月 原田正純兼担教授 就任辞退 丸山定巳兼担教授 が科目を追加して 担当するため、支障 はない(22)
兼担	教授	西園寺明治	平成21年4月	英語ⅡA 英語ⅡB						
兼担	教授	太田丈太郎	平成21年4月	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅢA ロシア語ⅢB ロシア語ⅣA ロシア語ⅣB						
兼担	教授	岡村 一	平成21年4月	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅢA スペイン語ⅢB スペイン語ⅣA スペイン語ⅣB					スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB	田代クリスティナ兼任 講師の就任辞退 に伴い、担当科目 を追加(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	原口行雄	平成22年4月	英語ⅢA 英語ⅢB						
兼任	教授	木下隆雄	平成22年4月	英語ⅣA 英語ⅣB					英語ⅢA 英語ⅢB	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)
					兼任	教授	馮 蘊澤	平成23年4月	中国語ⅢA 中国語ⅢB	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	准教授	黒木邦弘	平成22年4月	ソーシャルワーク方法論Ⅰ ソーシャルワーク方法論Ⅱ						
兼任	准教授	山西裕美	平成22年4月	家族援助論 家族社会学Ⅰ 家族社会学Ⅱ 社会調査Ⅱ					社会学概論Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	准教授	高林秀明	平成21年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ ソーシャルワーク方法論Ⅲ ボランティア論						
兼任	准教授	高倉統一	平成21年4月	法学 社会福祉法制Ⅰ 社会福祉法制Ⅱ						
兼任	准教授	陳 宇澄	平成22年4月	民法Ⅰ 民法Ⅱ 家族と法						
兼任	准教授	吉津晶子	平成22年4月	芸術療法入門						
兼任	准教授	小城義也	平成23年4月	日本事情特講		教授				平成23年1月1日昇格(23)
兼任	准教授	筒井久美子	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	准教授	Joseph George Tomei	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	准教授	土井文博	平成21年4月	日本事情特講 日本事情ⅡA						
兼任	准教授	Kirk Masden	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	准教授	相藤絹代	平成22年4月	ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	和田 要	平成23年4月	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ		教授			ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 (23) 平成21年4月1日昇格 (22)
兼担	准教授	杉本 学	平成21年4月	部落解放論Ⅰ 部落解放論Ⅱ						
兼担	准教授	川田亮一	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						
兼担	准教授	隈井泰樹	平成21年4月	自然科学と人間ⅠA (物理学) 自然科学と人間ⅠB (物理学) 日本事情ⅢA						
兼担	准教授	小川弘和	平成22年4月	日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ						
兼担	准教授	長友敬一	平成23年4月	倫理学概論Ⅰ 倫理学概論Ⅱ		教授				平成23年4月1日昇格 (23)
兼担	准教授	萩原修子	平成23年4月	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ						
兼担	准教授	吉川勝正	平成21年4月	英語ⅡA 英語ⅡB					英語ⅠA 英語ⅠB	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加 (22)
兼担	准教授	八木昭臣	平成21年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅣB						
兼担	准教授	佐藤正年	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
					兼担	准教授	塩入すみ	平成22年4月	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 (22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中村俊也	平成22年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 福祉管理運営論		准教授			ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成21年4月1日昇格(22)
兼任	講師	出川聖尚子	平成22年4月	児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ		准教授			ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成21年4月1日昇格(22)
兼任	講師	中敷領孝能	平成21年4月	統計学						
					兼任	講師	藤本延啓	平成23年4月	地域社会学Ⅰ 地域社会学Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	吉永心一	平成21年4月	日本事情ⅡA						
兼任	講師	上村宏一郎	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	玉垣均	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 リハビリテーション論						
兼任	講師	東利雄	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論						
兼任	講師	山本行文	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	渡辺充伸	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野隆雄	平成21年4月	衛生学(公衆衛生学を含む)						
兼任	講師	大森久光	平成21年4月	医学一般Ⅰ	兼任	講師	今村隆寿	平成23年4月	医学一般Ⅰ	平成23年3月 早野恵子兼任講師ならびに杉本啓介兼任講師辞任のため平成23年度より担当者の変更(23)
					兼任	講師	入江厚	平成23年4月	医学一般Ⅰ	
					兼任	講師	児玉公道	平成23年4月	医学一般Ⅰ	
					兼任	講師	早野恵子	平成22年4月	医学一般Ⅰ	平成23年3月 早野恵子兼任講師辞任(23) 杉本啓介兼任講師辞任(23)
					兼任	講師	杉本啓介	平成22年4月	医学一般Ⅰ	平成22年3月 大森久光兼任講師辞任のため平成22年度より担当者の変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	土亀直俊	平成21年4月	医学一般Ⅱ						
兼任	講師	富口静二	平成21年4月	医学一般Ⅱ						
					兼任	講師	森 康司	平成23年4月	医学一般Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	佐藤正弘	平成22年4月	ヘルスアンドウェルネス						
兼任	講師	丸谷浩介	平成22年4月	公的扶助論	兼任	講師	柴田 滋	平成22年4月		平成22年3月丸谷浩介兼任講師就任辞退のため平成22年度より担当者の変更(22)
兼任	講師	唐津邦利	平成21年4月	測定評価 スポーツ指導法実習 (器械運動) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
兼任	講師	加来克幸	平成23年4月	医療福祉論						
兼任	講師	福島正剛	平成23年4月	福祉行財政論	兼任	講師	堀端 裕	平成23年4月		平成23年3月福島正剛兼任講師就任辞退のため平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	鴻江圭子	平成23年4月	福祉管理運営論						
兼任	講師	砂川真澄	平成23年4月	司法福祉論						
兼任	講師	紫藤千子	平成23年4月	権利擁護と成年後見制度						
兼任	講師	熊川嘉一郎	平成23年4月	就労支援論						
兼任	講師	高木昭宏	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験	兼任	講師	原田栄作	平成23年4月		平成23年3月高木昭宏兼任講師就任辞退のため平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	原 三郎	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野直子	平成23年4月	栄養学						
兼任	講師	古賀由紀子	平成23年4月	学校保健						



届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	磯谷明德	平成21年4月	経済学Ⅱ						
兼任	講師	小野真理子	平成21年4月	手話Ⅰ 手話Ⅱ 手話Ⅲ 手話Ⅳ						
兼任	講師	松永 朗	平成21年4月	手話Ⅰ 手話Ⅱ 手話Ⅲ 手話Ⅳ						
兼任	講師	森岡秀幸	平成21年4月	点字Ⅰ 点字Ⅱ						
兼任	講師	松野了二	平成21年4月	情報処理入門						
					兼任	講師	中西直樹	平成22年4月	日本社会福祉史Ⅰ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
兼任	講師	鈴木桂樹	平成23年4月	現代行政論						
兼任	講師	平野裕二	平成23年4月	国際福祉論						
兼任	講師	奥山幸男	平成21年4月	スポーツ指導法実習 (陸上競技)Ⅰ スポーツ指導法実習 (陸上競技)Ⅱ					健康科学BⅠ 健康科学BⅡ	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)
兼任	講師	田中邦子	平成22年4月	レクリエーション指導法実習A						
					兼任	講師	八田茂樹	平成22年4月	地理学概論Ⅰ 地理学概論Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
兼任	講師	丸山定巳	平成23年4月	地域社会学Ⅰ 地域社会学Ⅱ	兼任	教授			水俣学 環境論ⅡA(環境と人間社会) 環境論ⅡB(環境と人間社会)	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) 平成22年4月 本学社会福祉学部 に就任(22) 平成22年3月 原田正純兼任教授 就任辞退のため担当 科目を追加(22)
					兼任	講師	田島幸治	平成23年4月	自然科学と人間ⅡA(化学) 自然科学と人間ⅡB(化学) 日本事情ⅢA	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	小園敏幸	平成21年4月	英語ⅠA 英語ⅠB						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	山田章則	平成21年4月	英語ⅠA 英語ⅠB						
					兼任	講師	西川盛雄	平成23年4月	英語ⅠA 英語ⅠB	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	安浪誠祐	平成23年4月	英語ⅡA 英語ⅡB	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	大熊敏子	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	濱田 明	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	Ferrero Yves Pierre	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	堀江智子	平成21年4月	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅢA 中国語ⅢB					中国語ⅣA 中国語ⅣB	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(23)
兼任	講師	伊禮智香子	平成21年4月	中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅣA 中国語ⅣB						
兼任	講師	田代クリスティナ	平成21年4月	スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB						就任辞退(21) 岡村一兼任教授が科目を追加して担当するため、支障はない。
兼任	講師	朴 永奎	平成21年4月	韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB	兼任 兼任	講師 准教授				平成22年3月 本学外国語学部辞任 引き続き授業を担当するので支障はない(22) 本学外国語学部に就任(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	佐々木正徳	平成21年4月	韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	兼任	講師	入江友佳子	平成22年4月	韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	松岡雄太兼任講師辞任のため担当者の変更(22)
					兼任	講師	松岡雄太	平成21年4月	韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	平成22年3月 松岡雄太兼任講師辞任 就任辞退(21)
兼任	講師	田中節子	平成22年4月	韓国語ⅣA 韓国語ⅣB						
					兼任	講師	浦川登久恵	平成23年4月	韓国語ⅣA 韓国語ⅣB	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
兼任	講師	則元志郎	平成21年4月	健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
兼任	講師	馬場良二	平成21年4月	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅢA 日本語ⅢB						
兼任	講師	松本妙子	平成21年4月	日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅣA 日本語ⅣB					日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅢA 日本語ⅢB	教育課程の充実を図るため、担当科目を追加(22)
兼任	講師	牧野洋一	平成21年4月	日本事情ⅠA						平成22年3月 牧野洋一兼任講師辞任 山中進兼任教授が科目を追加して担当するため、 支障はない(22)
兼任	講師	Jeffrey Joseph Gayman	平成21年4月	日本事情ⅡB						
兼任	講師	浦本裕之	平成21年4月	日本事情ⅢB						

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	2	1	0	10	0	7	1	2	1	11	0	
(6)	(2)	(1)	(0)	(9)	(0)	[0]	[△1]	[1]	[1]	[1]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

## (3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
8	准教授	加藤健一	一身上の都合

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

## (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

加藤健一専任准教授には辞任後も兼任講師として一部の科目を引き続き担当してもらう。また藤塚千秋専任講師を後任として新規採用し、石橋剛士専任助教も科目を追加して担当するため支障はないと考えている。  
学生へは、時間割表およびシラバスにおいて交代担当者を周知している。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																									
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし																											
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	・経済学部経済学科の入学定員超過の是正に努めること	<p>入学定員超過の是正に努めた結果、平均入学定員超過率は前年度の1.31倍から1.25倍へと改善した。</p> <p>〈経済学部経済学科〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員超過率</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>200</td> <td>253</td> <td>1.26</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>200</td> <td>265</td> <td>1.32</td> <td>1.29</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>200</td> <td>277</td> <td>1.38</td> <td>1.31</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>200</td> <td>212</td> <td>1.06</td> <td>1.25</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率	H20	200	253	1.26	1.26	H21	200	265	1.32	1.29	H22	200	277	1.38	1.31	H23	200	212	1.06	1.25	
	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率																							
H20	200	253	1.26	1.26																								
H21	200	265	1.32	1.29																								
H22	200	277	1.38	1.31																								
H23	200	212	1.06	1.25																								
	・社会福祉学部第二部社会福祉学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること	<p>平均入学定員超過率は前年度の0.68倍から0.63倍へと変わった。</p> <p>〈社会福祉学部第二部社会福祉学科〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>入学者数</th> <th>入学定員超過率</th> <th>平均入学定員超過率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>100</td> <td>49</td> <td>0.49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>80</td> <td>31</td> <td>0.38</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>80</td> <td>55</td> <td>0.68</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>80</td> <td>51</td> <td>0.63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率	H20	100	49	0.49	0.49	H21	80	31	0.38	0.38	H22	80	55	0.68	0.68	H23	80	51	0.63	0.63	この結果を学部でも真摯に受け止め、学生募集においても基準となる0.7倍を充足するよう、大学入試センター試験を利用する試験を追加し、入学機会の拡大をはかると共に、地元高校、社会人への需要の掘り起しにも努めていきたい。
年度	入学定員	入学者数	入学定員超過率	平均入学定員超過率																								
H20	100	49	0.49	0.49																								
H21	80	31	0.38	0.38																								
H22	80	55	0.68	0.68																								
H23	80	51	0.63	0.63																								

(注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。